

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 卒業研究 第2回中間発表会のご案内

4回生担任 高橋卓也

環境政策・計画学科4回生は、下記のように卒業研究第2回中間発表会を開催します。
関心がある方はどうぞご参加ください。

日時：2011年 9月22日(木) 9:00～
場所：A3-301教室

9月22日(木)

◆1時限

1	上村 礼子	高橋	環境活動に対するモチベーション向上の要因及び手法に関する研究□—滋賀県内のISO14001取得組織を対象として—
2	大橋 佑貴子	高橋	ナラ枯れ景観の改善に対する経済的評価□—京都市大文字山を対象として—
3	王 嘉陽	林	中国における風力発電所の最適立地と費用最小化問題について□—北京と内モンゴルを事例として—
4	竹内 奈々恵	林	営業用トラック貨物輸送の共同物流に関する事例研究
5	江守 雄至	林	バンドリングによる小規模分散型自然エネルギー発電の地域ビジネス化
6	真鍋 尋仁	林	耕畜連携による経済・環境調和型メタン発酵事業モデルの作成□—滋賀県東近江市の資源循環システムの構築を目指して—
7	上岡 瞳	金谷	ホテルにおける食品リサイクルの実態把握と効果的施策の提案に関する研究
8	中村 章吾	金谷	剪定枝リサイクルを実施している市の実施実態及び問題点に関する研究

◆2時限

10	福島 夕季	金谷	スーパーマーケットにおける容器包装削減の取り組み実態と削減効果についての研究
11	福田 晋伍	金谷	事業系ごみ有料指定袋制度の実施実態の把握とごみ減量促進効果に関する研究
12	栗谷 瞳子	近藤	キャンドルを用いたあかりイベントの景観分析と心理評価に関する研究
13	武田 真由子	近藤	東日本大震災後における全電化住宅に対する意識の変化に関する研究
14	力石 真野	近藤	竹刀職人のライフヒストリーを基にした国内竹刀製造業の歴史の変遷に関する研究 ～滋賀県を中心として～
15	辻 雅人	近藤	放課後児童クラブにおける日報の特徴とそのあり方に関する研究
16	本間 友香里	近藤	世界における「Weekly Vegetarian」運動の生起と展開に関する研究 —EVA(Ethical Vegetarian Alternative)の「Donderdag Veggiedag」を対象として—
17	北山 璃羅	柴田	小規模開発における環境配慮制度に関する研究 □—簡易アセスメントに着目して—

◆3時限

18	近藤 圭	柴田	宿泊施設における環境認証制度に関する研究
19	堀井 翔平	柴田	戦略的環境アセスメントにおける環境面と経済・社会面の比較評価手法
20	谷口 勇隆	鶴飼	戸建て分譲型環境共生住宅団地入居者の環境配慮行動を促す要因
21	丹羽 亮太	鶴飼	過疎高齢化地域における住民出資の商店の継続要因の考察
22	野間 比呂心	鶴飼	定住促進事業における定住コーディネーターに関する考察
23	宇佐見 美穂	井手	コミュニティ組織による水環境保全活動の活発さの差異に関する研究□—滋賀県守山市を事例として—
24	大村 枝里	井手	定年退職男性による地域密着型環境ボランティア活動の継続要因と今後の課題 —滋賀県近江八幡市を事例に—
25	竹腰 和博	井手	ホテルの保全と両立した環境の在り方の提案

◆4時限

26	木村 彰宏	井手	コメの生産・流通が琵琶湖の水資源利用に及ぼす影響に関する研究
27	濱田 智章	井手	内湖の機能再生に向けた調査研究 —松原内湖を対象として—
28	稲葉 孝文	井手	琵琶湖周辺内湖における栄養塩類除去量の推定
29	伊勢戸 早希	小野	農業を通じた障がい者雇用促進に関する研究
30	川瀬 隆文	小野	市町村における協働事業提案制度の実施実態及び課題の把握□—行政とNPOのコミュニケーションの観点から—
31	金 兌式	秋山	彦根市における主要幹線道路の立地特性に関する研究□—巡礼街道と国道8号線を対象として—
32	大江 稔	香川	重要文化的景観選定地域の環境保全における地域住民のプライバシー保護に関する研究 —高島市針江・霜降のカバタを対象として—
33	桐山 卓也	香川	スキー場におけるゴミ問題の実態把握とその対応策□—岐阜県のスキー場を対象として—

◆5時限

34	佐渡 稔之	香川	地理的特徴から見るため池における外来魚の分布傾向に関する研究□—滋賀県全域を対象として—
35	堀内 亜季	香川	日本におけるフェアトレード普及策の提案に向けた実態と課題についての研究
36	間野 智也	香川	滋賀県におけるイヌワシ保護の啓発活動の促進に関する研究□—伊吹山を対象として—
37	薩摩 かなえ	秋山	市町村合併に伴う環境基本計画の再策定に関する研究□—滋賀県を対象として—
38	藤田 芽紅	秋山	環境基本計画策定後の進行管理に関する研究□—彦根市の環境基本計画を対象として—

◆教員からの全体コメント

◆閉会

◆別日程

9	日笠 希美	金谷	家庭ごみ有料化における手数料使途の実態把握及び情報公開度の比較
---	-------	----	---------------------------------

◇注意事項◇

- ◎一人につき発表5分、助言5分とする。
- ◎時間の経過は4分経過で一鈴、5分経過で二鈴として示す。
- ◎発表は要領よく行うこと。時間の超過は許されない。
- ◎次演者は次演者席に着席し、次々演者がタイムキーパーを務めること。